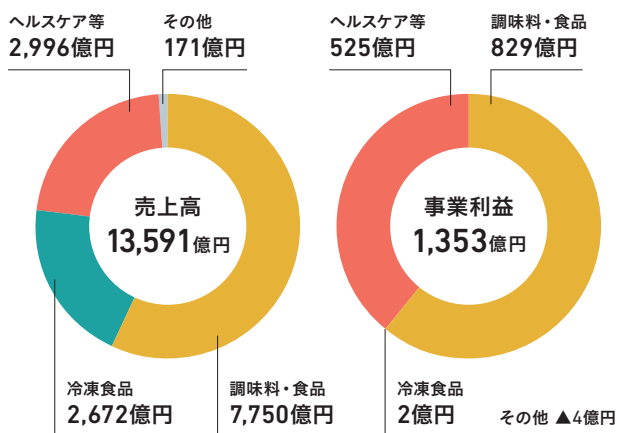
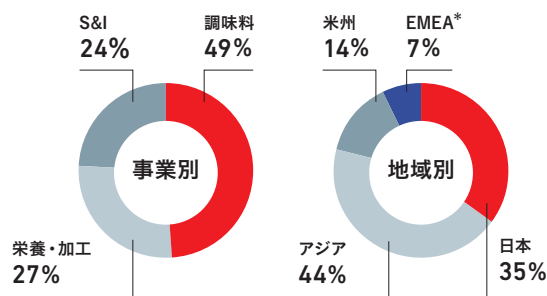


セグメント別業績レビュー

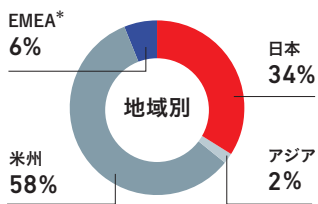
[2022年度売上高・事業利益]



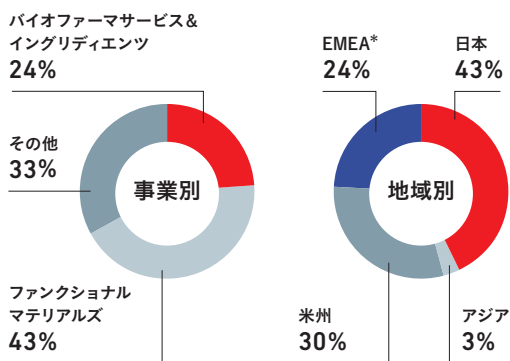
[調味料・食品売上高構成比]



[冷凍食品売上高構成比]



[ヘルスケア等売上高構成比]



\*欧州、中東、アフリカ

調味料・食品

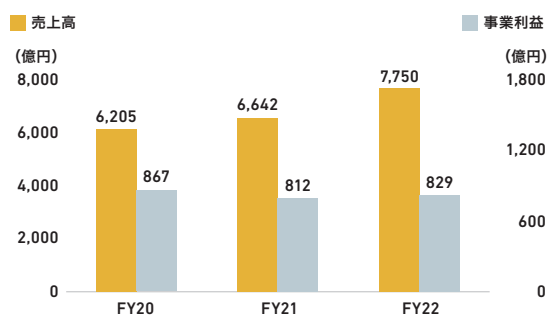
当セグメントに含まれる主な事業

- 調味料 ● 栄養・加工食品
- ソリューション&イングリエディエツツ (S&I)

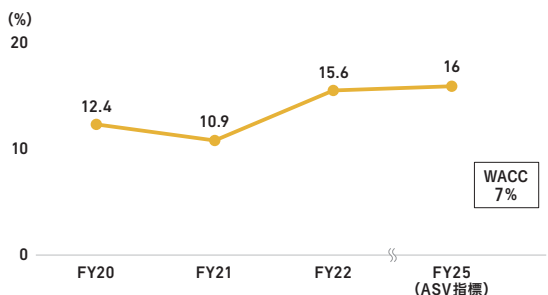
2022年度業績概況

全体では増収増益となりました。売上高は、換算為替の影響に加え、海外における単価上昇や販売数量増等により、前期を上回りました。事業利益は、原材料等のコスト増の影響があったものの、換算為替の影響や増収効果等により、前期を上回りました。

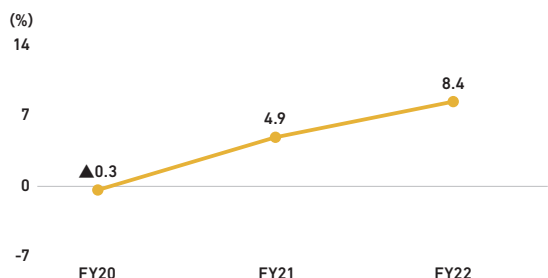
[売上高・事業利益推移]



[ROIC]



[オーガニック成長率]

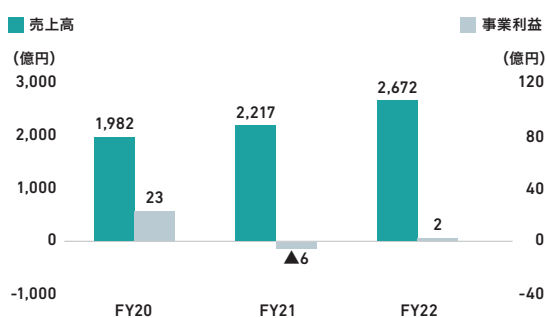


## 冷凍食品

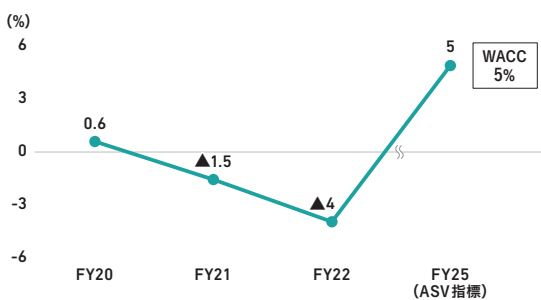
### 2022年度業績概況

全体では増収増益となりました。売上高は、換算為替の影響や単価上昇等により、前期を上回りました。事業利益は、原材料等のコスト増の影響があったものの、増収効果や換算為替の影響等により、前期を上回りました。

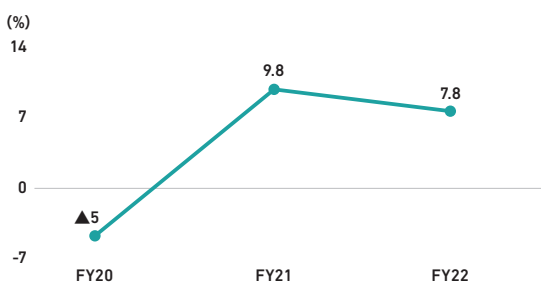
#### [売上高・事業利益推移]



#### [ROIC]



#### [オーガニック成長率]



## ヘルスケア等

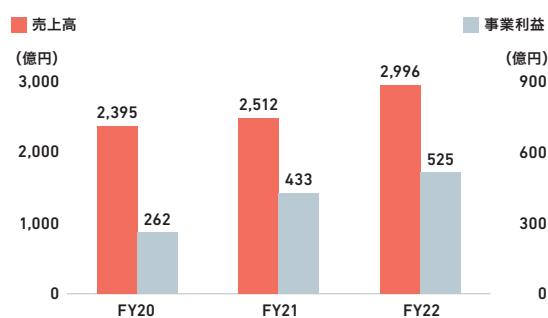
### 当セグメントに含まれる主な事業

- バイオファーマサービス&イングリディエンツ
- ファンクショナルマテリアルズ (電子材料等)

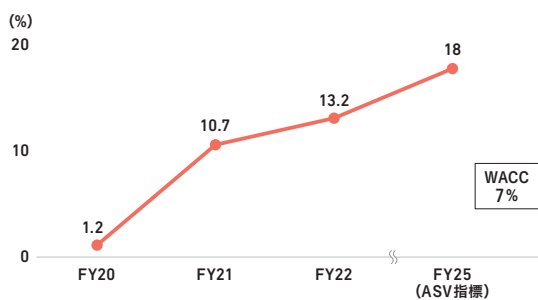
### 2022年度業績概況

全体では増収増益となりました。売上高は、バイオファーマサービス&イングリディエンツ、ファンクショナルマテリアルズ (電子材料等) 等の販売増や換算為替の影響等により、前期を上回りました。事業利益は、増収効果や換算為替の影響等により、前期を上回りました。

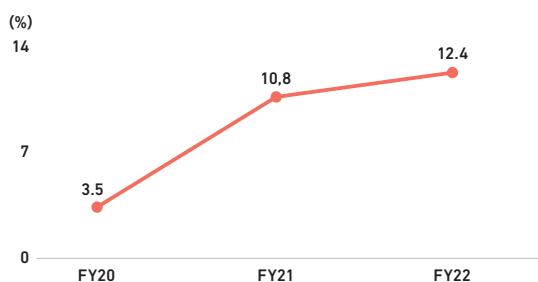
#### [売上高・事業利益推移]



#### [ROIC]



#### [オーガニック成長率]



## 10年間の財務データ

(単位：百万円)

日本基準	FY2013	FY2014	FY2015
年度：			
売上高	951,359	1,006,630	1,184,100
売上原価	△635,594	△659,509	△769,230
売上総利益	315,765	347,121	414,870
販売費及び一般管理費	△253,957	△272,601	△323,989
営業利益	61,807	74,519	90,880
営業外収支、特別損益	10,754	4,529	9,272
税金等調整前当期純利益	72,561	79,049	100,153
親会社株主に帰属する当期純利益	42,159	46,495	63,427
設備投資	50,602	50,927	58,867
減価償却費	45,746	43,376	50,920
年度末：			
総資産	1,093,165	1,255,090	1,262,113
自己資本	594,950	669,576	619,872
有利子負債(Net)	10,538	43,299	43,462
1株当たり(円)：			
当期純利益	¥68.70	¥78.50	¥107.90
純資産	1,002.3	1,131.4	1,066.8
年間配当金	20.0	24.0	28.0
流動性の指標：			
D/Eレシオ*1	0.07	0.13	0.16
インタレストカバレッジ倍率(倍)	31.0	50.4	57.1
投資の指標：			
株価収益率(倍)	21.2	33.5	23.5
株価純資産倍率(倍)	1.5	2.3	2.4
収益性の指標：			
総資産当期純利益率(ROA) (%) *2	3.9	4.0	5.0
自己資本当期純利益率(ROE) (%) *3	7.1	7.4	9.8
効率性の指標：			
総資本回転率(回) *4	0.87	0.87	0.86

\*1 D/Eレシオ=有利子負債÷自己資本(有利子負債は「有利子負債-現金および現金同等物×75%」で計算)

\*2 総資産当期純利益率(ROA) = 当期純利益 ÷ 期中平均総資産

\*3 自己資本当期純利益率(ROE) = 当期純利益 ÷ 期中平均自己資本

\*4 総資本回転率(回) = 売上高 ÷ 期中平均資産合計

(単位：百万円)

IFRS	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022
年度：								
売上高	1,149,427	1,091,195	1,114,784	1,114,308	1,100,039	1,071,453	1,149,370	1,359,115
売上原価	△757,135	△704,177	△720,118	△719,299	△696,166	△665,234	△723,472	△888,727
売上総利益	392,291	387,018	394,666	395,008	403,873	406,219	425,897	470,387
販売費・研究開発費及び一般管理費	△295,315	△292,701	△302,959	△301,253	△302,191	△294,399	△305,966	△339,372
事業利益*1	98,144	96,852	95,672	93,237	99,236	113,136	120,915	135,341
営業利益	99,678	83,617	78,706	53,642	48,773	101,121	124,572	148,928
税引前当期利益	98,778	86,684	80,819	54,698	48,795	98,320	122,472	140,033
親会社の所有者に帰属する当期利益	71,292	53,065	60,124	29,698	18,837	59,416	75,725	94,065
設備投資	58,459	89,677	79,417	79,632	83,666	91,834	74,102	69,850
減価償却費及び償却費	50,852	46,273	51,783	52,485	61,986	63,045	66,234	71,820
年度末：								
資産合計	1,273,893	1,350,105	1,426,230	1,393,869	1,353,616	1,431,289	1,457,060	1,511,734
親会社の所有者に帰属する持分	609,486	616,315	640,833	610,543	538,975	620,257	686,909	768,676
有利子負債(Net)	64,089	149,980	156,337	183,297	272,031	225,213	212,508	203,722
1株当たり(円)：								
当期利益	¥121.23	¥92.81	¥105.76	¥53.62	¥34.37	¥108.36	¥139.42	¥175.97
親会社所有者帰属持分	1,048.96	1,082.90	1,128.44	1,113.93	983.19	1,130.82	1,280.50	1,452.24
年間配当金	28.0	30.0	32.0	32.0	32.0	42.0	52.0	68.0
流動性の指標：								
ネットD/Eレシオ*2	0.19	0.31	0.32	0.36	0.57	0.44	0.36	0.31
インタレストカバレッジレシオ(倍)	58.8	44.0	43.3	38.1	32.6	49.2	45.0	31.4
投資の指標：								
株価収益率(倍)	20.9	23.7	18.0	33.0	58.5	20.9	24.9	26.2
株価親会社所有者帰属持分倍率(倍)	2.4	2.0	1.7	1.6	2.0	2.0	2.7	3.2
収益性の指標：								
総資産事業利益率(ROA)(%)*3	7.8	7.4	6.9	6.6	7.2	8.1	8.4	9.1
親会社所有者帰属持分 当期利益率(ROE)(%)*4	11.3	8.7	9.6	4.7	3.3	10.3	11.6	12.9
資本利益率(ROIC)(%)*5	-	-	-	3.8	3.0	6.9	7.9	9.9
EBITDAマージン(%)*6	-	-	-	-	-	-	-	15.2
効率性の指標：								
総資本回転率(回)*7	0.91	0.83	0.80	0.80	0.80	0.77	0.80	0.92

\*1 IFRS導入時に、経営管理のため独自に定義した利益指標(売上高-売上原価-販売費・研究開発費および一般管理費+持分法による損益)

\*2 ネットD/Eレシオ=有利子負債÷親会社所有者帰属持分(有利子負債は「有利子負債-現金および現金同等物×75%」で計算)

\*3 総資産事業利益率(ROA)=事業利益÷期中平均資産合計

\*4 親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)=親会社の所有者に帰属する当期利益÷期中平均親会社所有者帰属持分

\*5 投下資本利益率(ROIC)=(事業年度の税引後営業利益)÷

[ {(事業年度の投下資本)+(前事業年度の投下資本)} ÷2]

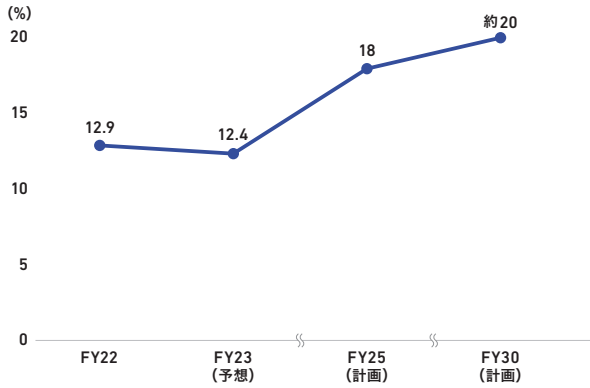
(投下資本=親会社の所有者に帰属する株主資本+有利子負債)

\*6 EBITDAマージン=(事業利益+減価償却費および償却費)÷売上高

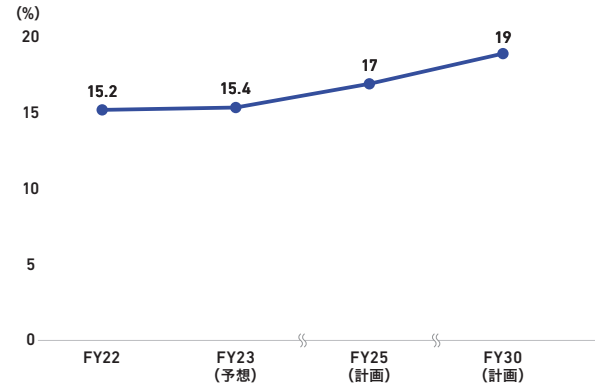
\*7 総資本回転率(回)=売上高÷期中平均資産合計

## パフォーマンスデータ

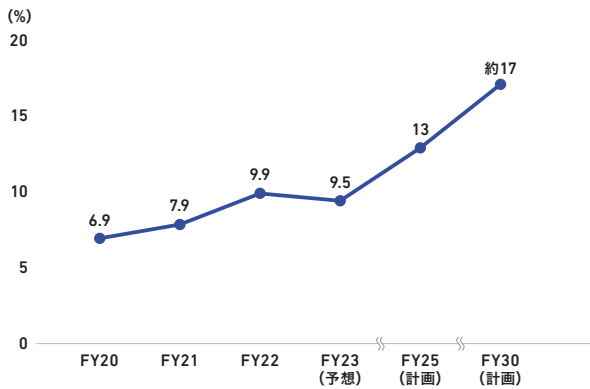
### [ ROE ]



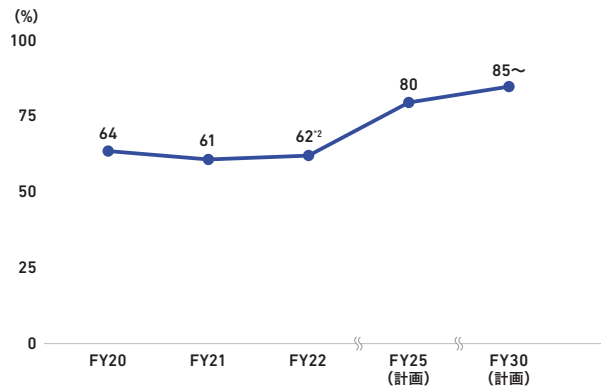
### [ EBITDAマージン ]



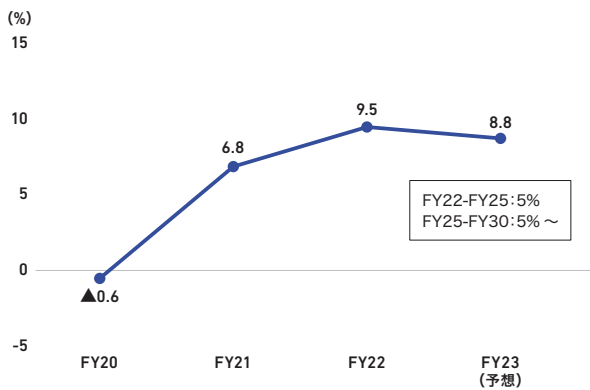
### [ ROIC (>資本コスト) ]



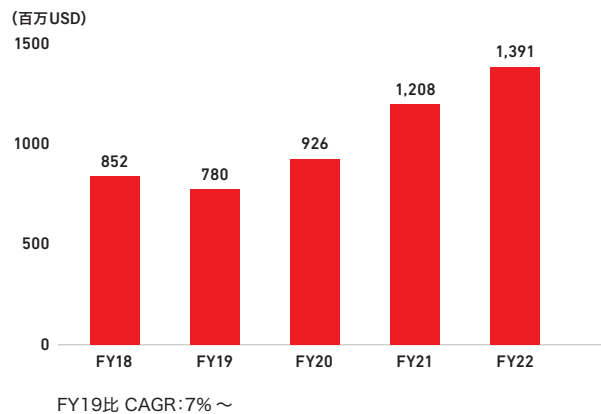
### [ 従業員エンゲージメントスコア\*1 ]



### [ オーガニック成長率 ]



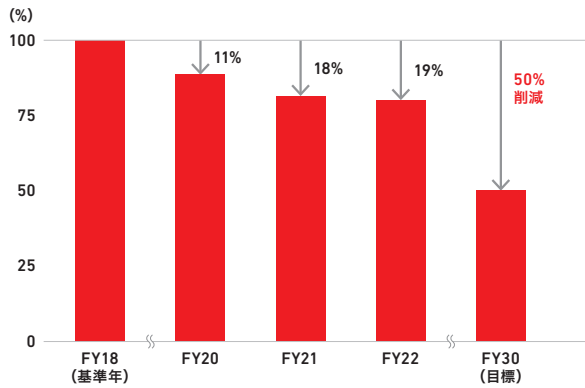
### [ コーポレートブランド価値\*3 ]



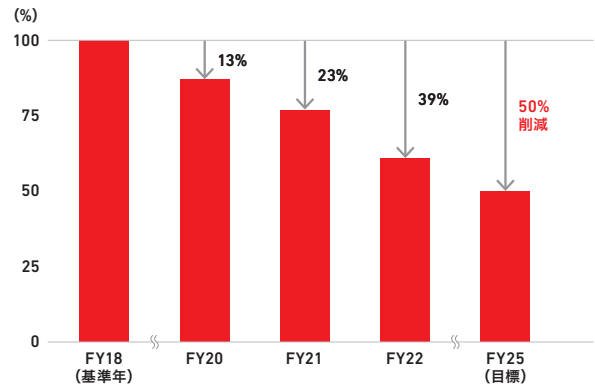
\*1 測定方法を、「ASV自分ごと化」の1設問から、より実態を把握できる「ASV実現プロセス」の設問項目の平均値へと2023年度スコアから変更する。

\*2 新しい測定方法では75%。 \*3 インターブランド社調べ。「Best Japan Brands」公表数値。

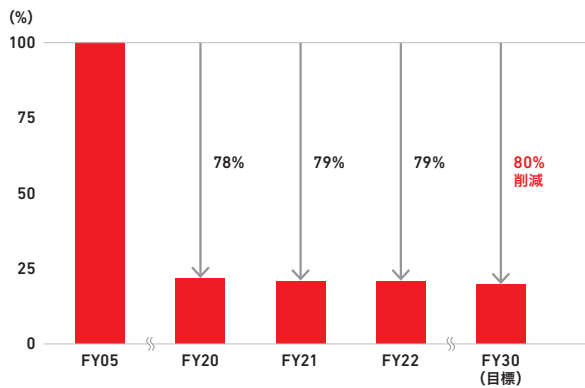
[ 温室効果ガス排出量削減率  
(対2018年度スコープ1、2総量) \*1 ]



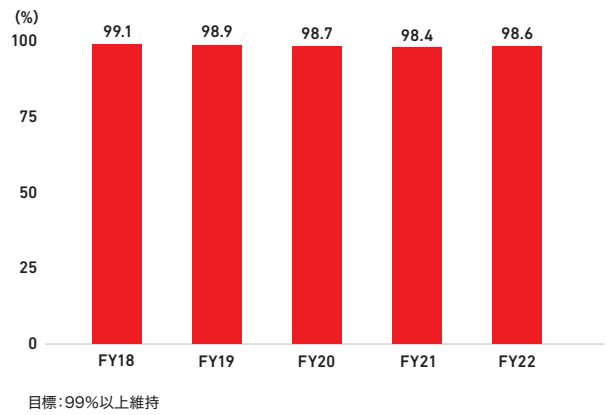
[ フードロス削減率  
(発生量対生産量原単位) \*3 (対2018年度) ]



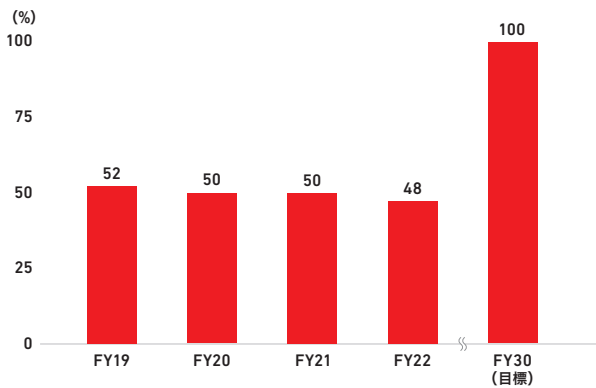
[ 水使用量対生産量原単位削減率 (対2005年度) ]



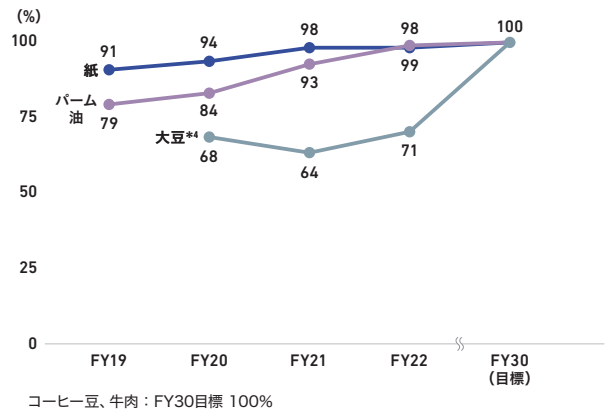
[ 資源化率 ]



[ リサイクル可能なプラスチック \*2 比率 ]



[ 持続可能な調達比率 ]



[ 栄養コミットメントの定量KPI ]

	FY20(実績)	FY21(実績)	FY22(実績)	FY25(目標)	FY30(目標)
栄養価値を高めた製品 *5 の割合	40%	50%	56%	—	60%
栄養価値を高めた製品のうち、「おいしい減塩」「たんぱく質摂取」に役立つ製品の提供	年間 2.8億人	年間 3.2億人	年間 3.4億人	—	年間 4億人
アミノ酸の生理機能や栄養機能を活用した製品の利用機会	(基準年)	1.07倍 *6	1.10倍	—	2倍
従業員への栄養教育	460人	2.6万人	5.6万人	延べ10万人	—

\*1 SBTi目標に対する実績。 \*2 技術的にリサイクル可能なプラスチック。2019年に総量調査を実施、2020年以降のリサイクル可能比率は、国内主要事業部のみ更新。

\*3 原材料受け入れからお客様納品まで。 \*4 国内事業向け調達分。

\*5 国際公衆衛生の観点から重要な栄養成分の摂取の改善・強化に寄与する、味の素グループの基準を満たす製品。 \*6 集計の見直しにより修正。

# EUROPE & AFRICA

## France

■ 欧州アフリカ本部  
ヨーロッパ味の素社  
欧州味の素食品社  
フランス味の素冷凍食品社

## Spain

アグロ2アグリ社

## Ireland

ニュアルトラ社

## Belgium

味の素オムネクム社

## Poland

ポーランド味の素社  
味の素JAWO社

## Russia

ロシア味の素社  
味の素-ジェネチカ・リサーチ・イン  
スティチュート社

## Nigeria

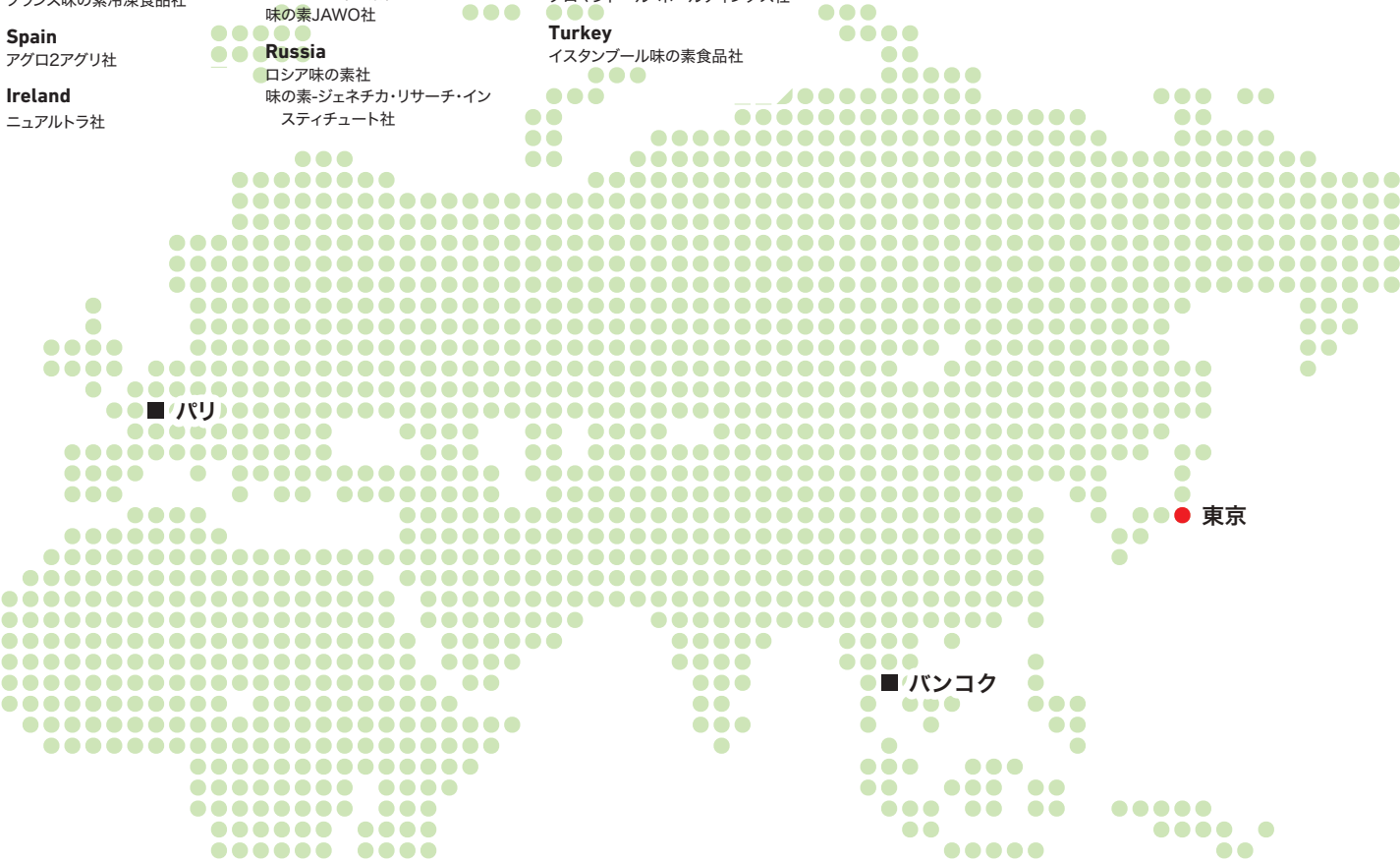
ナイジェリア味の素食品社

## British Virgin Islands

プロマシドール・ホールディングス社

## Turkey

イスタンブール味の素食品社



# ASIA

## Japan

● 味の素(株)  
味の素食品北海道(株)  
北海道味の素(株)  
日本プロテイン(株)  
テリカエース(株)  
味の素エンジニアリング(株)  
(株)味の素コミュニケーションズ  
味の素デジタルビジネスパートナー(株)  
味の素AGF(株)  
味の素トレーディング(株)  
味の素フィナンシャル・  
ソリューションズ(株)  
味の素ベーカリー(株)  
味の素ヘルシーサプライ(株)  
味の素冷凍食品(株)  
味の素みらい(株)  
味の素ダイレクト(株)  
川研ファインケミカル(株)  
(株)J-オイルミルズ  
F-LINE(株)  
NRシステムテクノ(株)  
味の素食品(株)  
味の素ファインテクノ(株)  
味の素コージンバイオ(株)

(株)かつお技術研究所  
(株)ジーンデザイン  
ヤマキ(株)  
味の素構内サービス(株)  
沖縄味の素(株)

## China

味の素(中国)社  
上海味の素アミノ酸社  
上海味の素食品研究開発センター社  
上海味の素調味料社  
連雲港味の素如意食品社  
連雲港味の素冷凍食品社  
アモイ味の素ライブ如意食品社  
味の素(香港)社  
上海味の素貿易有限公司  
味の素(上海)化学制品社

## Korea

韓国味の素社  
味の素ジェネクシン社  
味の素農心フーズ社

## Taiwan

台素社  
台湾味の素社

## Philippines

フィリピン味の素社  
フィリピン味の素フレーバーフーズ社

## Thailand

■ アセアン本部  
味の素アセアン地域統括社  
タイ味の素社  
タイ味の素販売社  
タイ味の素ベタグロ冷凍食品社  
タイ味の素冷凍食品社  
味の素ベタグロ・  
スペシャルティフーズ社  
ワンタイフーズ社  
FDグリーン(タイランド)社

## Indonesia

インドネシア味の素社  
インドネシア味の素販売社  
アジネックス・インターナショナル社  
ラウタン味の素・ファイン・  
イングリーディエンツ社

## Vietnam

ベトナム味の素社

## Cambodia

カンボジア味の素社

## Malaysia

マレーシア味の素社

## Singapore

シンガポール味の素社

## Myanmar

ミャンマー味の素食品社

## Bangladesh

バングラデシュ味の素社

## India

味の素バイオファーマサービス  
インドシア社  
インド味の素社  
マルちゃん味の素インド社

# 味の素グループは 36の国と地域で事業を展開しています。

\*2023年4月1日現在



## NORTH AMERICA

### U.S.A.

■ 北米本部  
味の素ヘルス・アンド・  
ニュートリション・ノースアメリカ社  
味の素アルテア社  
味の素フーズ・ノースアメリカ社  
味の素東洋フローズンヌードル社  
味の素ファインテック/USA社  
味の素キャンブルック社  
モア・ザン・グルメ社

### Canada

ケニー・アンド・ロス社

## LATIN AMERICA

### Brazil

■ ラテンアメリカ本部  
ブラジル味の素社

### Mexico

メキシコ味の素社

### Peru

ペルー味の素社

### Ecuador

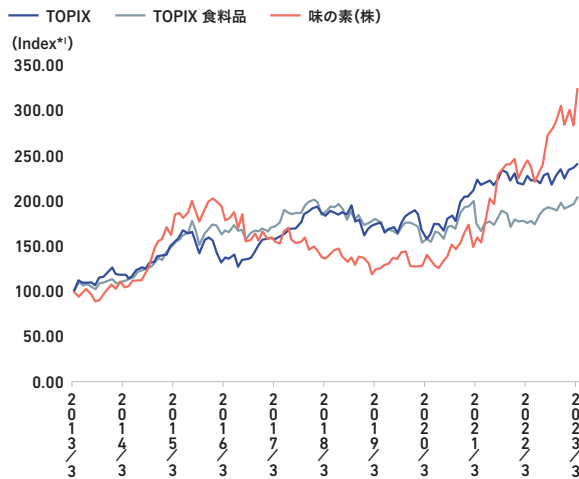
サバコール社

■ サンパウロ



社名	味の素株式会社
創業年月日	1909年5月20日
資本金	79,863百万円
従業員数	連結34,615名、単体3,335名
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで (定時株主総会：6月)
本社所在地	〒104-8315 東京都中央区京橋一丁目15番1号 TEL：(03) 5250-8111(代)
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式の総数	529,798,154株
株主数	118,147名(前期末比2,474名減)
上場証券取引所	東京証券取引所(証券コード：2802)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

[ 株価パフォーマンス(10年間) ]



\*1 2013年3月末日の終値データを100とした配当込みの株価指数の推移。

[ トータル株主リターン(TSR) ]

	1年	3年		5年		10年	
	累計/年率	累計	年率	累計	年率	累計	年率
味の素(株)	34.5%	137.2%	33.4%	151.0%	20.2%	251.0%	13.4%
TOPIX	5.8%	53.4%	15.3%	31.8%	5.7%	142.1%	9.2%
TOPIX食料品	16.9%	29.1%	8.9%	9.1%	1.8%	105.2%	7.5%

[ 株式分布状況(所有者別) ]

金融機関	48.6%
個人・その他	15.9%
外国法人・外国人	30.6%
事業会社等(その他の法人)	3.1%
金融商品取引業者	1.7%

[ 大株主 ]

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	100,279	18.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	42,182	7.96
JP MORGAN CHASE BANK 385632	28,022	5.29
第一生命保険株式会社	26,199	4.95
日本生命保険相互会社	25,706	4.85
明治安田生命保険相互会社	11,362	2.15
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	8,257	1.56
株式会社三菱UFJ銀行	8,162	1.54
JP MORGAN CHASE BANK 385781	6,363	1.20
損害保険ジャパン株式会社	6,282	1.19

[ 年度ごとの株価推移 ]

FY	最高値(円)	最安値(円)	年度末(円)	ボラティリティ*2
2012	1,416	1,018	1,415	20.0%
2013	1,594	1,236	1,475	28.2%
2014	2,782.50	1,443.00	2,634.50	26.2%
2015	3,161.00	2,404.00	2,539.50	33.6%
2016	2,702.50	2,020.00	2,196.50	28.2%
2017	2,543.50	1,853.00	1,925.00	19.2%
2018	2,188.00	1,624.50	1,769.00	25.4%
2019	2,088.00	1,626.00	2,010.50	26.1%
2020	2,527.50	1,694.00	2,265.50	28.9%
2021	3,656.00	2,135.00	3,475.00	24.9%
2022	4,634.00	2,879.00	4,606.00	25.9%

\*2 数値は標準偏差。

[ SRIインデックスへの組み入れ ]

> SRIインデックスへの組み入れ <https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/esg/evaluation.html>

- Dow Jones Sustainability World Index  
2014年より連続選定
- FTSE4Good Global Index  
2004年より連続選定
- MSCI Global SRI Indexes  
2011年より連続選定
- MSCI Global ESG Leaders Indexes  
2010年より連続選定

[ 主な評価・表彰 ]

> 外部からの評価・表彰 <https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/esg/sri/2022.html>

- CDP2022年度  
「気候変動Aリスト(最高評価)」
- IR優良企業賞2022
- 健康経営優良法人2023  
(大規模法人部門～ホワイト500～)
- PRIDE指標2022(ゴールド)
- 第4回ESGファイナンス・アワード・ジャパン  
「環境サステナブル企業部門」【環境大臣賞】金賞
- 証券アナリストによるディスクロージャー  
優良企業選定  
食品部門「ディスクロージャー優良企業」、  
個人投資家向け情報提供部門  
「ディスクロージャー優良企業」
- 令和4年度「なでしこ銘柄」
- GPIFの国内株式運用機関が選ぶ  
「優れた統合報告書」
- DX銘柄2023



[ 関連資料 ]

[ 関連資料体系図 ]

ASVレポート2023 (発行日：2023年8月末)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/activity/ir/>



ASVレポート編集部

味の素(株)経営企画部、グローバル財務部、グローバルコミュニケーション部、(株)マガジンハウス、(有)nendo、(株)バリュークリエイト、(株)プレーンセンター

味の素グループ サステナビリティレポート (発行日：2023年9月末)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/databook.html>

IR Data Book (発行日：2023年6月末)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/guide.html>

有価証券報告書 (発行日：2023年6月末)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/securities.html>

コーポレート・ガバナンスに関する基本方針 (更新日：2023年6月末)

[https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/strategy/corp\\_gov/main/0/teaserItems1/03/linkList/03/link/principle\\_J.pdf](https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/strategy/corp_gov/main/0/teaserItems1/03/linkList/03/link/principle_J.pdf)

コーポレート・ガバナンス報告書 (発行日：2023年6月末)

[https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/strategy/corp\\_gov/main/0/teaserItems1/03/linkList/01/link/Governance2023\\_J.pdf](https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/strategy/corp_gov/main/0/teaserItems1/03/linkList/01/link/Governance2023_J.pdf)

中期ASV経営 2030ロードマップ (公開日：2023年2月28日)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/strategy/managementplan.html>

